

## 第10章 工程計画

### (1) 整備スケジュールの検討

整備スケジュールについては、全体整備期間として10年を目標とし、以下の考えに基づき整備計画を立てる。

- ・用地取得時期など不確定要素がある拡張エリアは、整備時期後半とする。

#### <既存区域の整備スケジュールの考え方>

- ・既存エリアの内、再整備に既に取り掛かっている琉球弧修景を先行する。
- ・ホワイトライオンの入手予定があり、早急な対応が必要な施設を優先する。
- ・続いて、「既存建物を面的に撤去でき、まとまったエリアで改修がかけられ、リニューアルイメージアップの効果が高いクマ舎周辺の谷部」、「入口が分かりにくい、動物園までのつなぎ部の魅力不足等の課題を抱えているエントランス部」を手掛ける。
- ・クマ舎の谷部の改修に併せ、その先にある人気動物ゾウ周辺にあたるワニ舎周辺の整備を行う。
- ・さらに、琉球弧エリアの残りと愛玩動物エリアの整備を行う。
- ・最後に、既存エリアの残り誕生の池ゾーンの整備を行う。
- ・便益サービス施設については、各エリア整備に合わせて実施する。

#### <拡張区域の整備スケジュールの考え方>

- ・既存エリアに展示動物（キリン、ダチョウ、カンガルー、オオアリクイ等）が残っており、面的な整備を早急に行うことが望ましい、草原の動物ゾーンから先行整備を行う。
- ・次いで、連続する水辺の動物ゾーンの整備を行う。
- ・ジャングルゾーンについては、工事車両の進入を考慮し、南駐車場から一番奥に当たるバードケージエリア、カモフラージュの森エリア、サルの森エリアの順に整備を行う。

次項に、整備スケジュールを一覧表に整理する。

事業スケジュール

年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38																					
ハード事業	基本計画	傷病鳥獣舎 (ホワイトライオン舎) 基本・実施設計 改修工事 完	日本の動物ゾーン (里山の迷宮エリア/クマ舎周辺) 基本設計 実施設計 工事 完	水辺の動物ゾーン (爬虫類の滝エリア) 基本設計 実施設計 工事 完	ワンダーパークゾーン (エントランス周辺/ガイダンスバビリオン含む) 基本設計 建築・造園実施設計 (ガイダンスバビリオン) 展示基本設計 展示実施設計 展示工事 完	琉球弧修景その1 工事 完	琉球弧修景その2 実施設計 工事 完	琉球弧修景その3 (アークおきまる、遊戯施設跡地) 実施設計 工事 完	愛玩動物 (ふれあい) 基本・実施設計 工事 完	東駐車場 基本・実施設計 工事 完	そうぞうの池ゾーン (そうぞうの池エリア) 基本・実施設計 工事 完	メイン駐車場その1 基本設計 実施設計 工事 完	メイン駐車場その2・ZOO スクール 改修基本・実施設計 工事 完	草原の動物ゾーン (草原のバビリオン、トロッコライド含む) 基本設計 建築・造園実施設計 工事 完	水辺の動物ゾーン (生命の池エリア) 実施設計 工事 完	水辺の動物ゾーン (ゾウの舞台エリア) 展示基本設計 展示実施設計 展示工事 完	ジャングルゾーン (カモフラージュの森/森のバビリオン含む) 基本設計 実施設計 工事 完	ジャングルゾーン (サル森) 建築・造園実施設計 工事 完	森のバビリオン 展示基本設計 展示実施設計 展示工事 完	ジャングルゾーン (サルの森) 実施設計 工事 完	空中ライド 基本設計 実施設計 工事 完	サイン計画 サイン設計・工事 ※エリアの整備に伴う	可動演出等 完	用地買収	既存区域	小さな生き物の世界 基本・実施設計 工事 完	拡張区域	全園完成					
		サイン計画	サイン設計・工事 ※エリアの整備に伴う																														
		ソフト事業	デザインレクゾフ																														
			民間活力導入実施計画 ・事業スキーム検討 ・事業計画立案	民間事業者との連携																													
			運営実施計画 管理マニュアル作成	来園者調査 ブラインド調査 (評価・改善) 等																													
			広報・営業計画	VI設計																													
			コミュニケーションデザイン計画 (VI・情報発信計画等)	情報システム設計																													



## (2) 動物ローテーション計画

整備スケジュールに基づき、既存展示動物の移動計画について整理する。なお、ふれあい動物園エリアに整備する傷病鳥獣舎を仮獣舎として活用する他、既存獣舎やパドックも活用する。

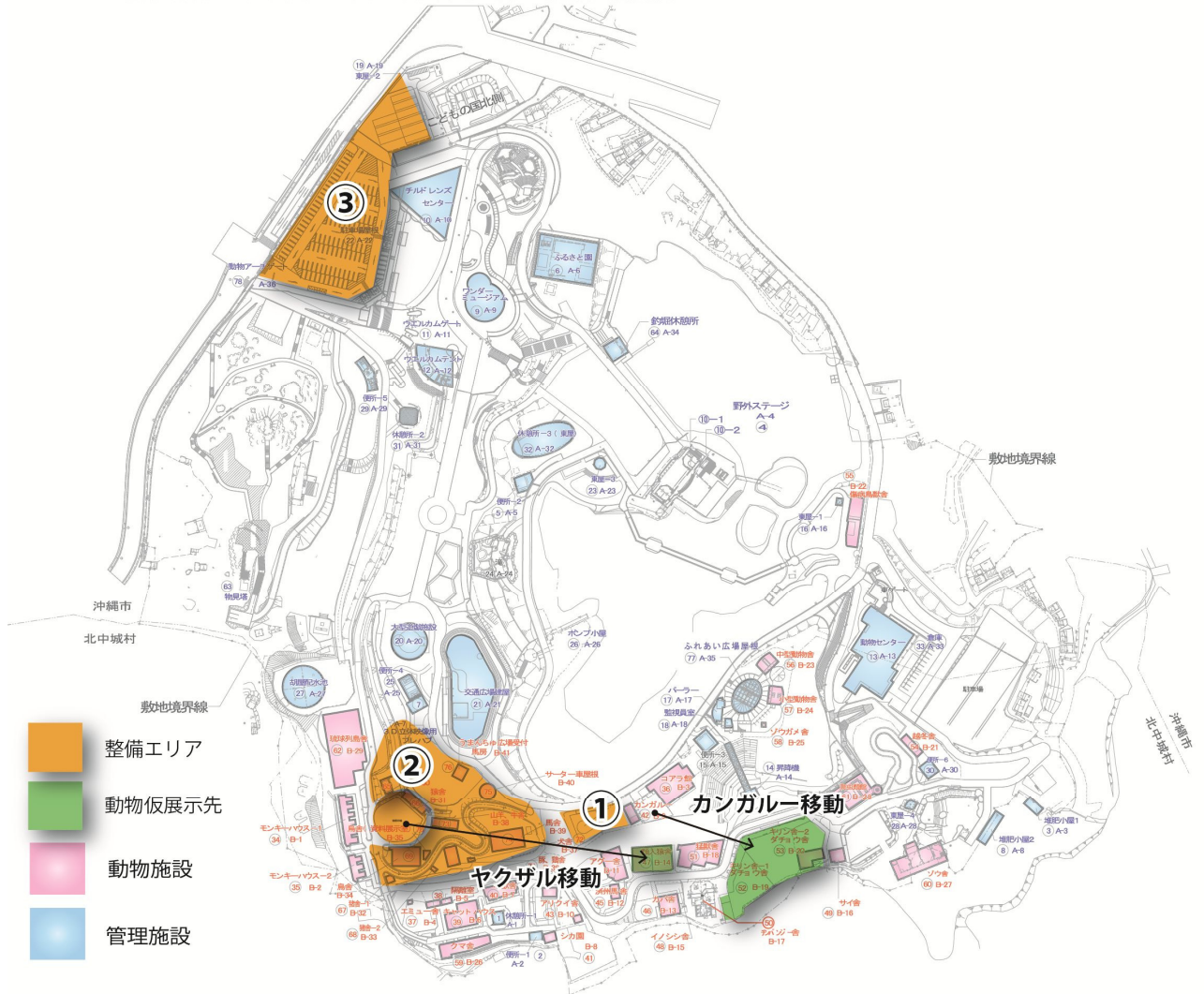
以下に、各年度での整備エリア及び動物移動（案）を示す。

### H29 年度

- ①新傷病鳥獣舎整備（ホワイトライオン舎）
- ②琉球弧修景その2整備（既存施設壁面修景、ヤクザル・シカ舎周辺体験遊具、植栽等）
- ③メイン駐車場その1整備

#### < 動物移動 >

- ・ヤクザル⇒類人猿舎へ移動、仮展示
- ・カンガルー⇒キリン・ダチョウ舎の一角へ移動、仮展示



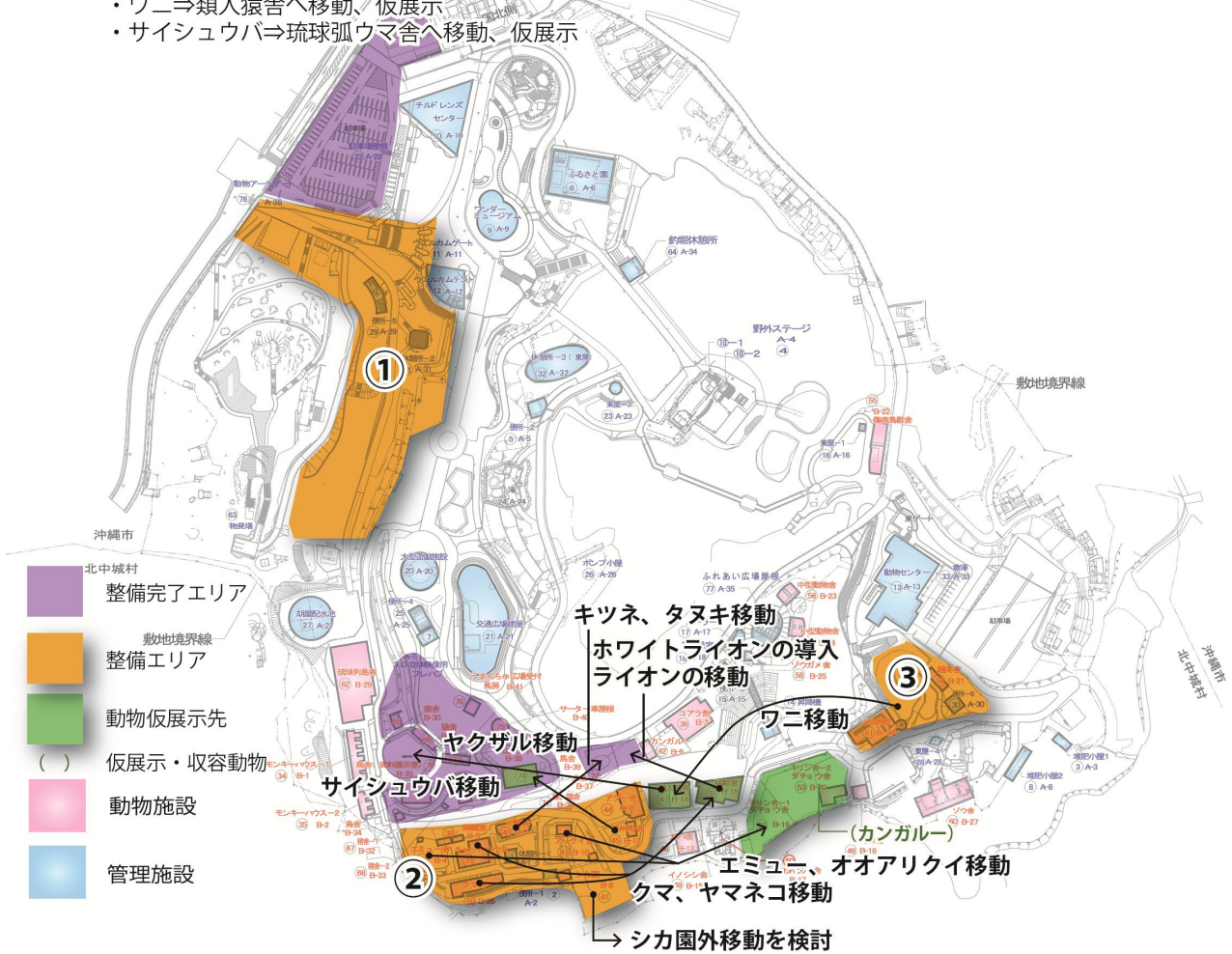


## H30 年度

- ① エントランス周辺整備 (ガイダンスパビリオン、エントランス周辺外構等)
- ② 里山の迷宮エリア整備
- ③ 爬虫類の滝エリア整備

### < 動物移動 >

- ・ ヤクザル⇒類人猿舎からヤクザル舎へ移動
- ・ ライオン⇒新傷病鳥獣舎 (ホワイトライオン舎) へ移動、仮展示
- ・ エミュー、オオアリクイ⇒キリン・ダチョウ舎の一角へ移動、仮展示
- ・ クマ、アムールヤマネコ、ツシマヤマネコ⇒猛獣舎へ移動、仮展示
- ・ キツネ、タヌキ⇒新傷病鳥獣舎 (ホワイトライオン舎) に収容
- ・ ワニ⇒類人猿舎へ移動、仮展示
- ・ サイシュウバ⇒琉球弧ウマ舎へ移動、仮展示

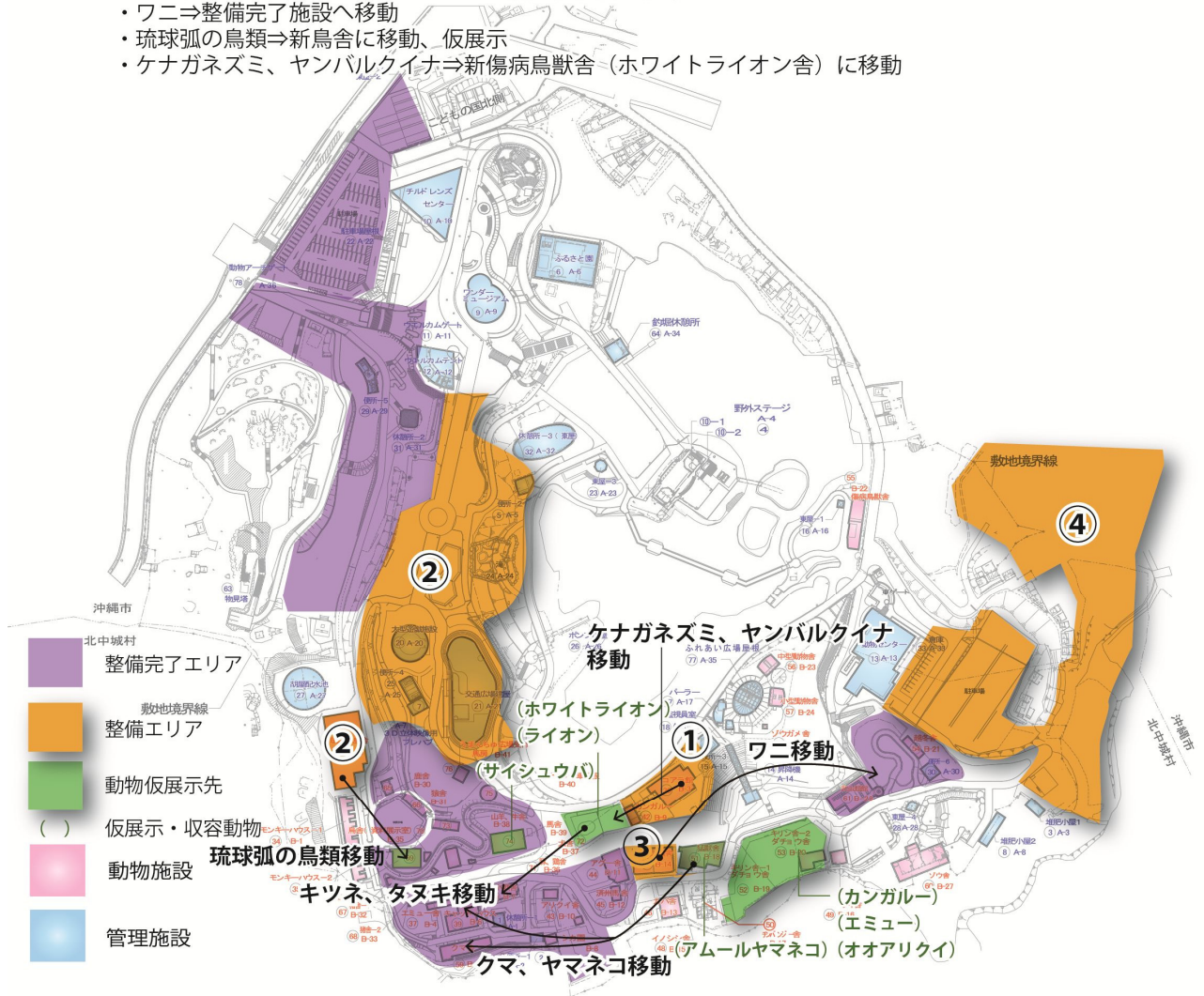


## H31 年度

- ①ふれあい動物エリア整備
- ②琉球弧修景その3 整備（遊戯施設跡地整備、アークおきまる改修等）
- ③里山の迷宮エリア残り整備
- ④東駐車場整備

### < 動物移動 >

- ・クマ、ヤマネコ、タヌキ、キツネ⇒整備完了施設へ移動
- ・ワニ⇒整備完了施設へ移動
- ・琉球弧の鳥類⇒新鳥舎に移動、仮展示
- ・ケナガネズミ、ヤンバルクイナ⇒新傷病鳥獣舎（ホワイトライオン舎）に移動



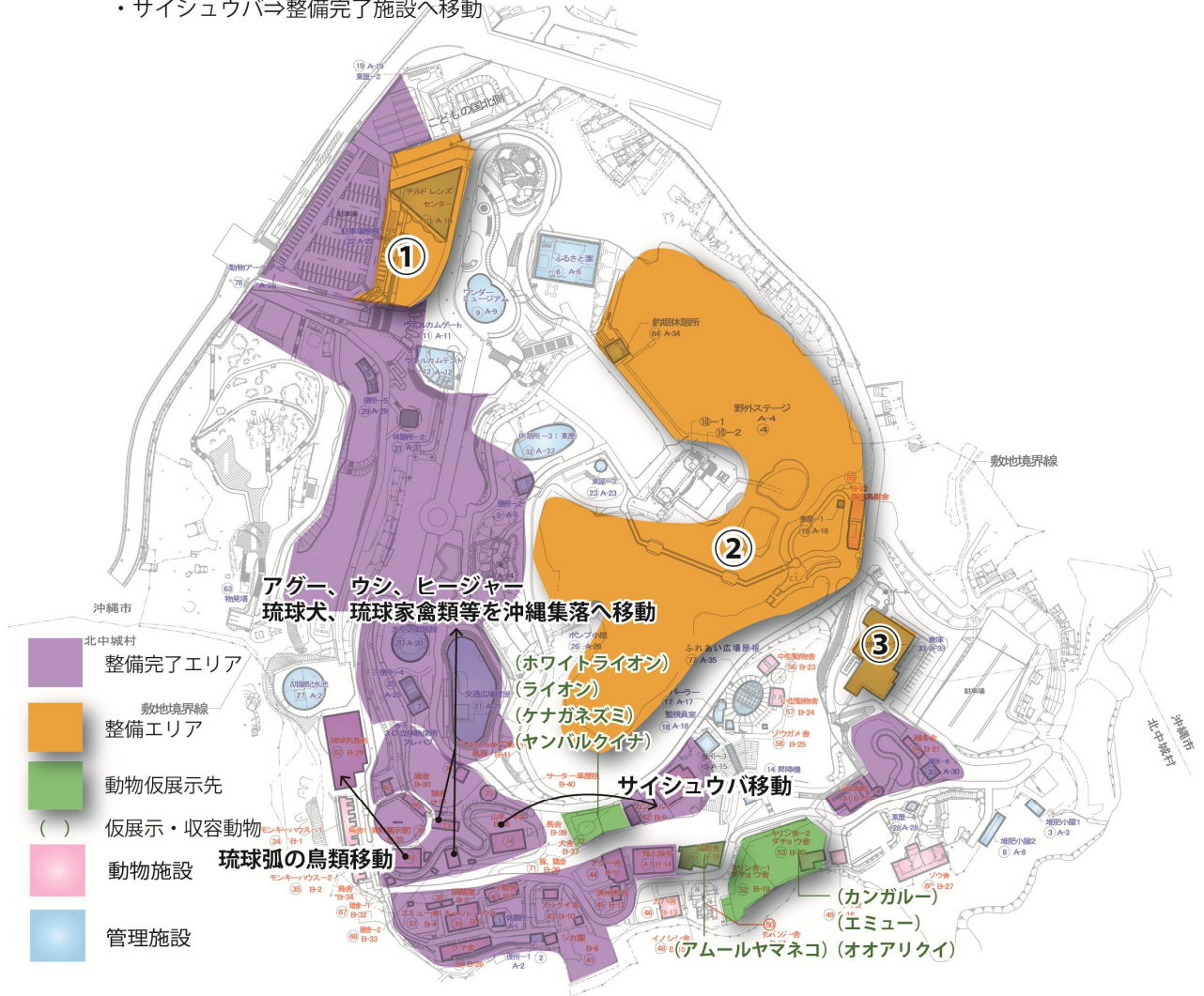


## H32 年度

- ①メイン駐車場その2整備
- ②そうぞうの池整備（車道橋、ボートライド駅等）
- ③Zoo スクール改修整備

### < 動物移動 >

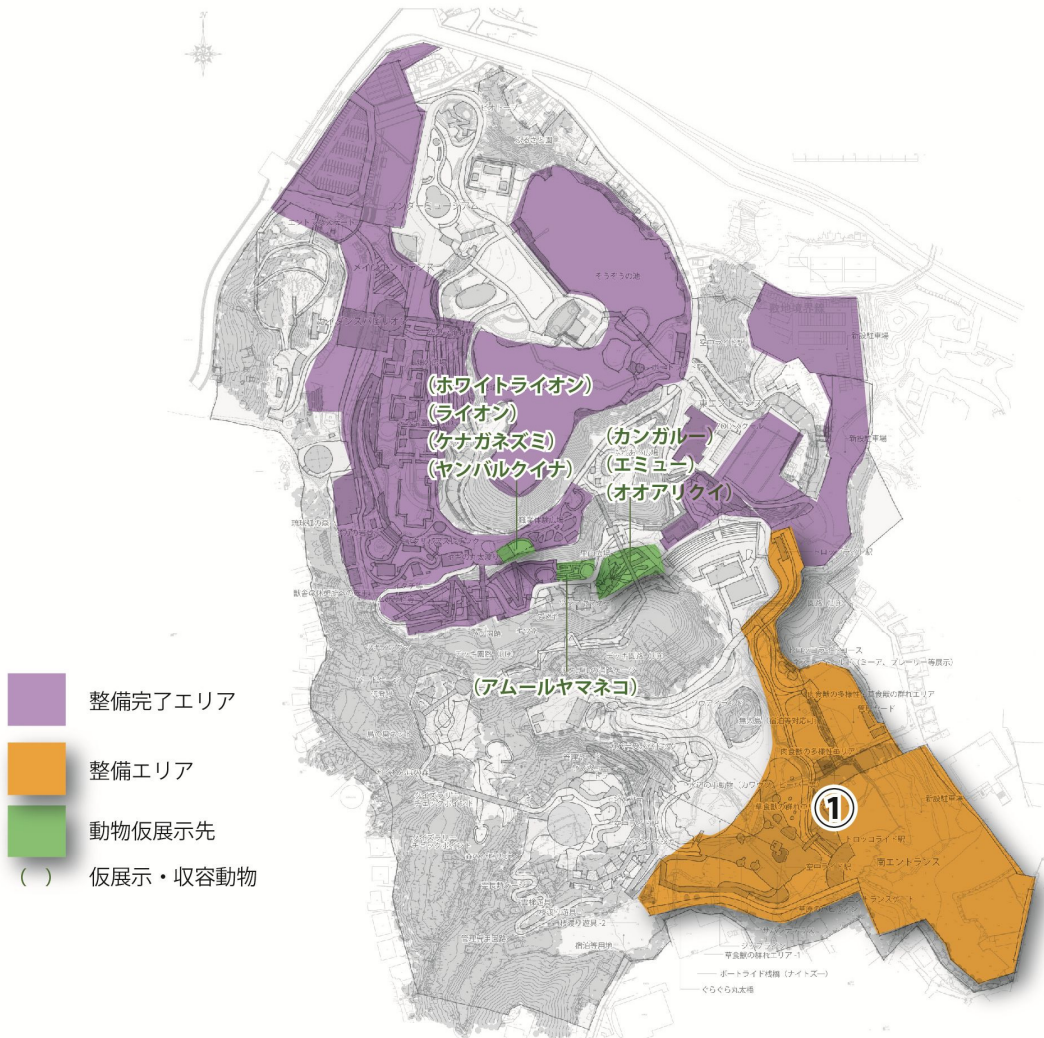
- ・アグー、ウシ、ヒージャー、琉球犬、琉球家禽類⇒整備完了施設へ移動
- ・琉球弧の鳥類⇒整備完了施設へ移動
- ・サイシュウバ⇒整備完了施設へ移動



# H33 年度

## ①草原の動物ゾーン整備 (南駐車場、トロッコライド共)

< 動物移動 >  
・なし

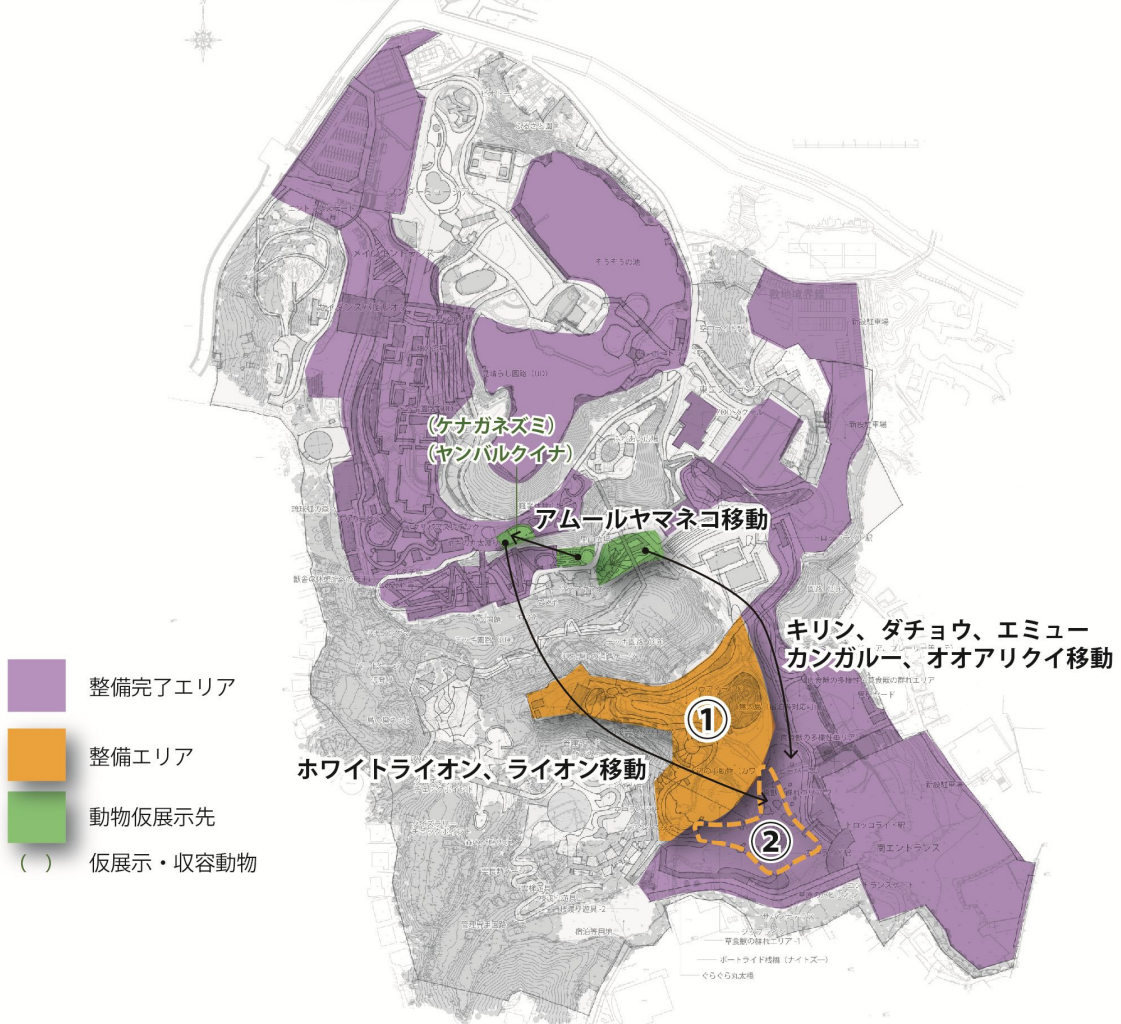


## H34 年度

- ①生命の池エリア整備
- ②草原のパビリオン展示整備

### < 動物移動 >

- ・ホワイトライオン、ライオン、キリン、ダチョウ、エミュー、カンガルー、オオアリクイ⇒整備完了施設へ移動
- ・アムールヤマネコ⇒新傷病鳥獣舎で仮展示



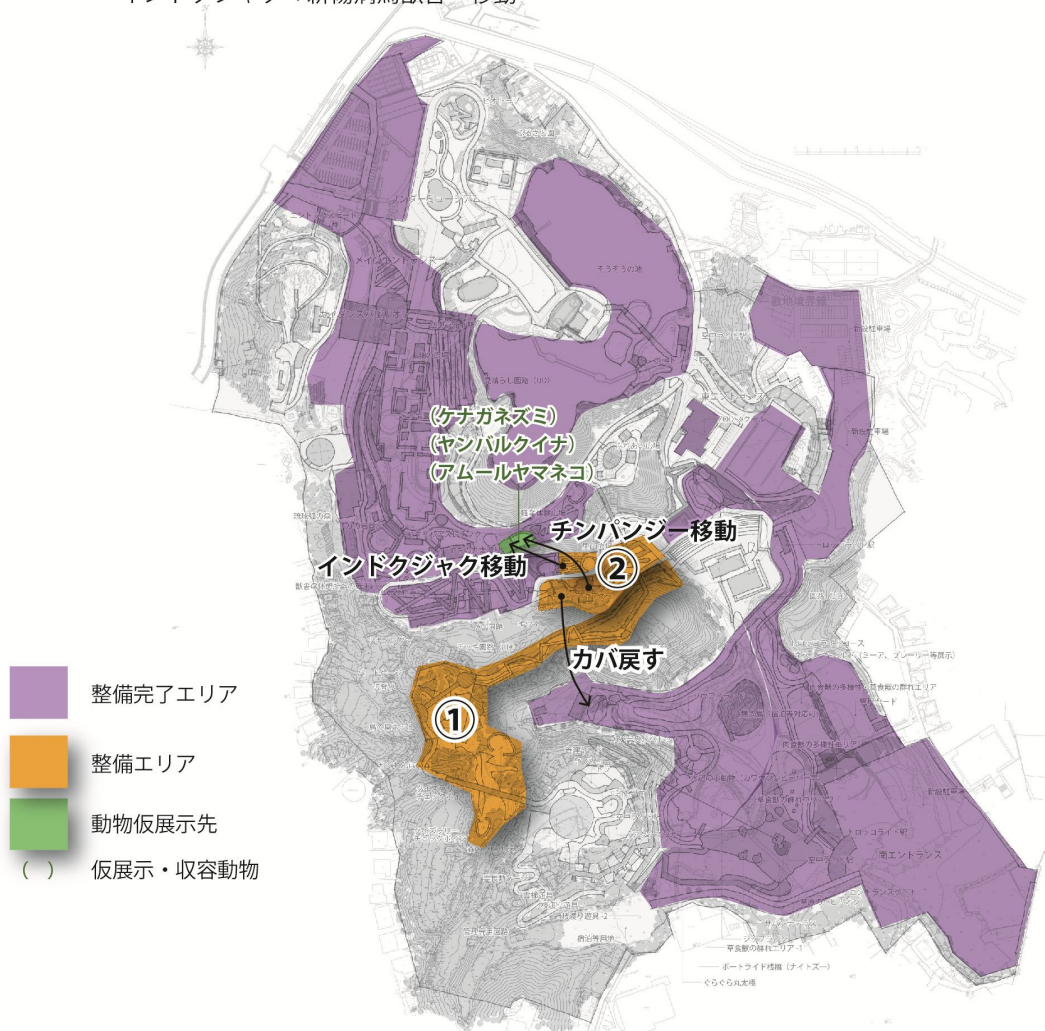


## H35 年度

- ① ジングルゾーン整備 (バードケージエリア)
- ② 小さな生き物の世界整備 (里山の迷宮の一部広場含む)

### < 動物移動 >

- ・ チンパンジー⇒新傷病鳥獣舎へ移動、仮展示
- ・ カバ⇒整備完了施設へ戻す
- ・ インドクジャク⇒新傷病鳥獣舎へ移動

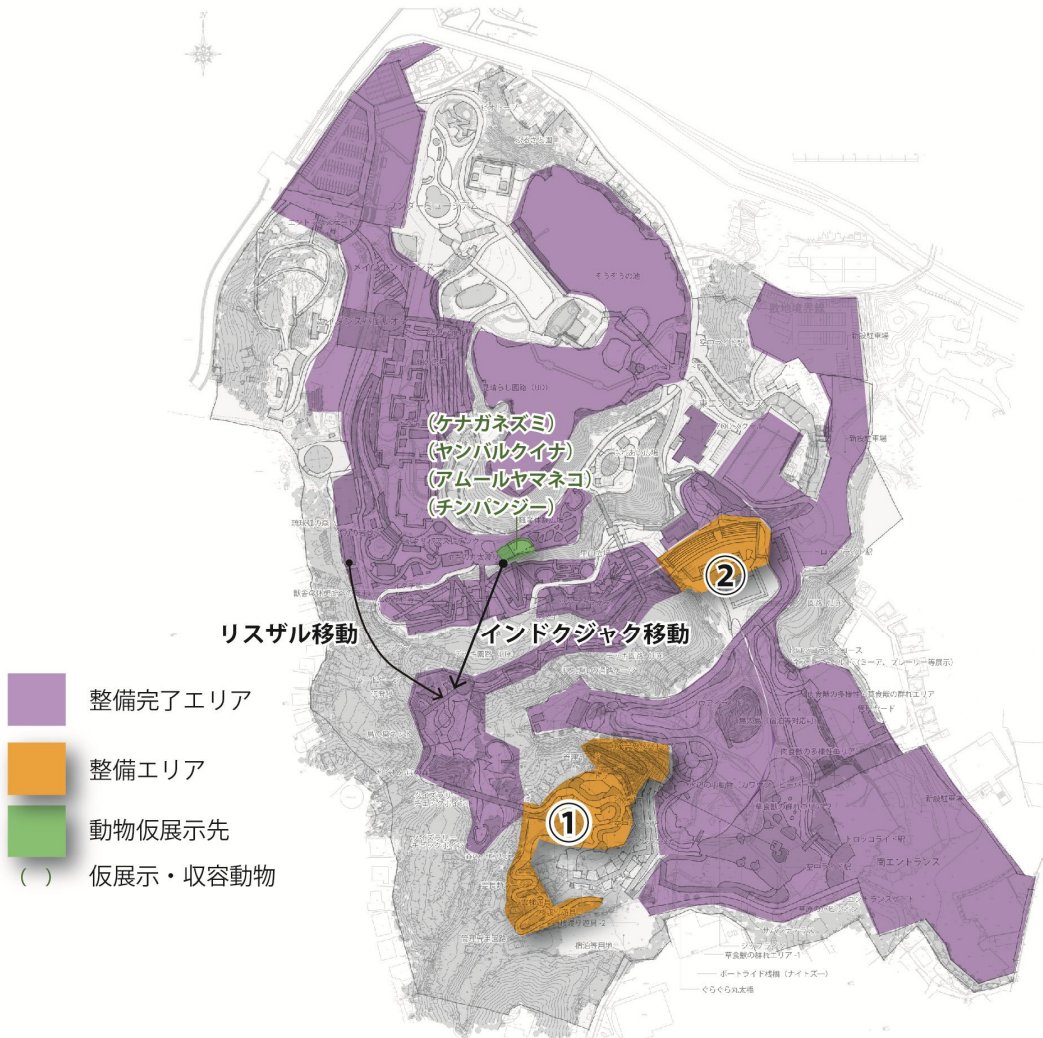


## H36 年度

- ①ジャングルゾーン整備（カモフラージュの森エリア、森のパビリオン）
- ②ゾウの舞台整備

### < 動物移動 >

- ・リスザル、インドクジャク⇒整備完了施設へ移動

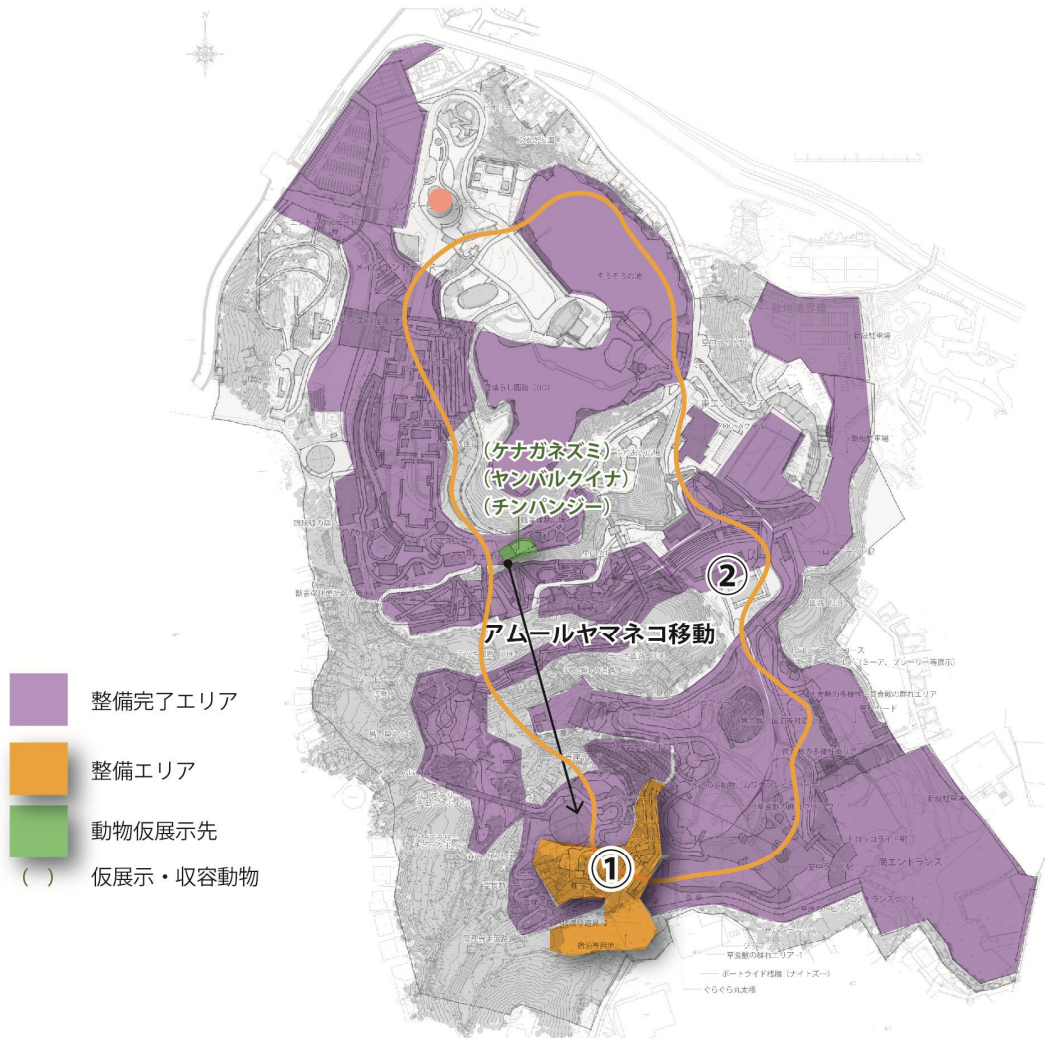


## H37 年度

- ①ジャングルゾーン整備 (サルの森エリア)
- ②空中ライド整備

### < 動物移動 >

- ・アムールヤマネコ⇒整備完了施設へ移動



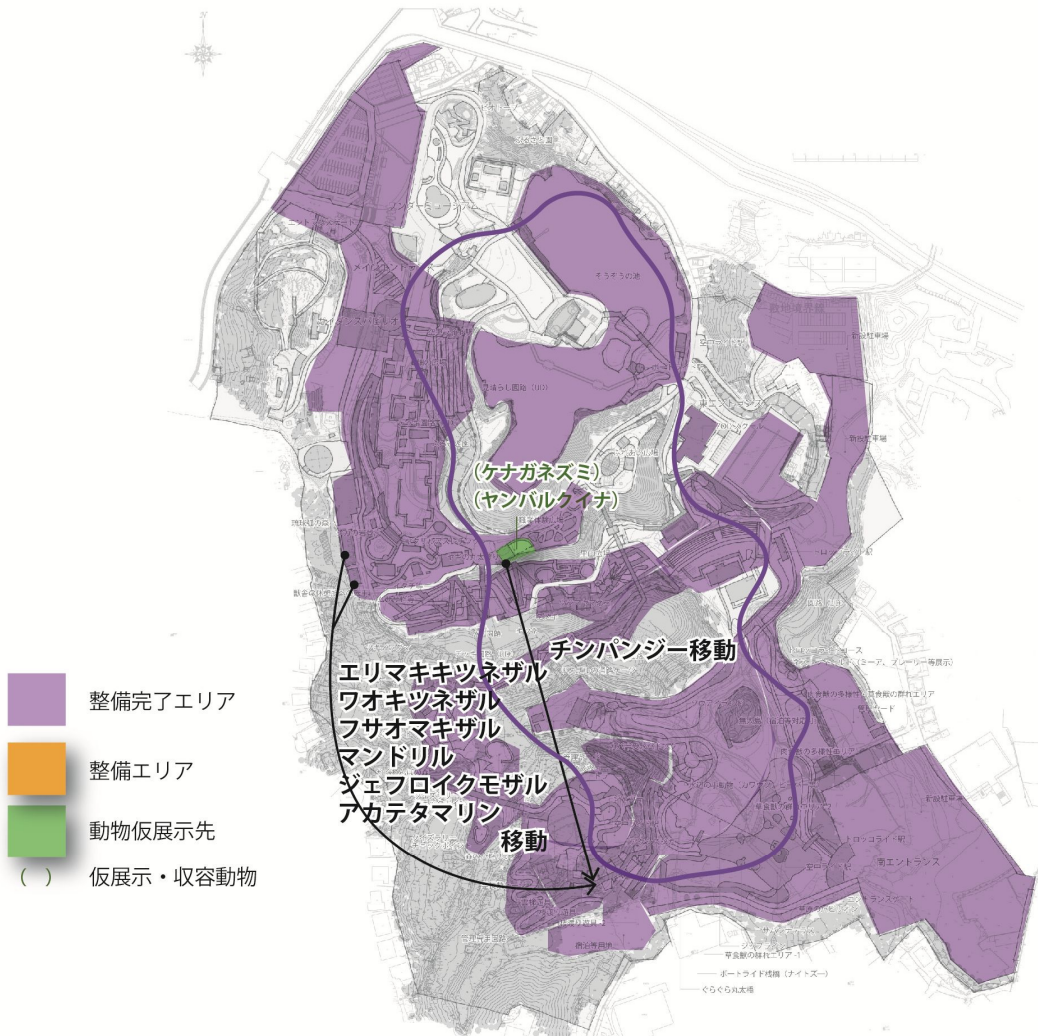


## H38年度（前年度再整備事業完了、動物移動のみ）

### <動物移動>

- ・チンパンジー、エリマキキツネザル、ワオキツネザル、フサオマキザル、マンドリル、ジェフロイクモザル、アカテタマリン

⇒整備完了施設へ移動

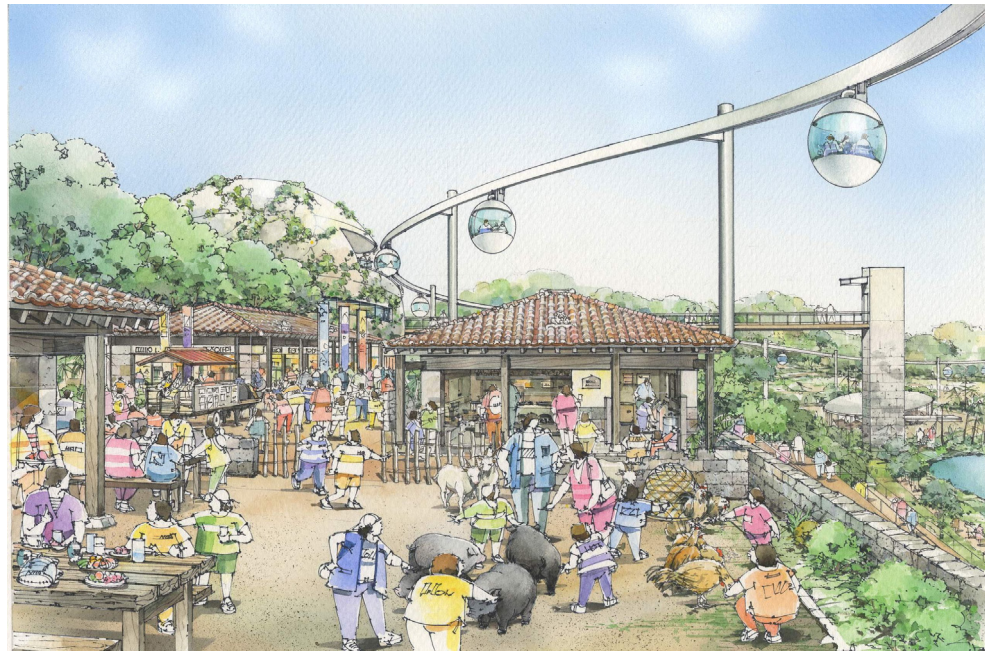


### (3) 概算事業費の算出

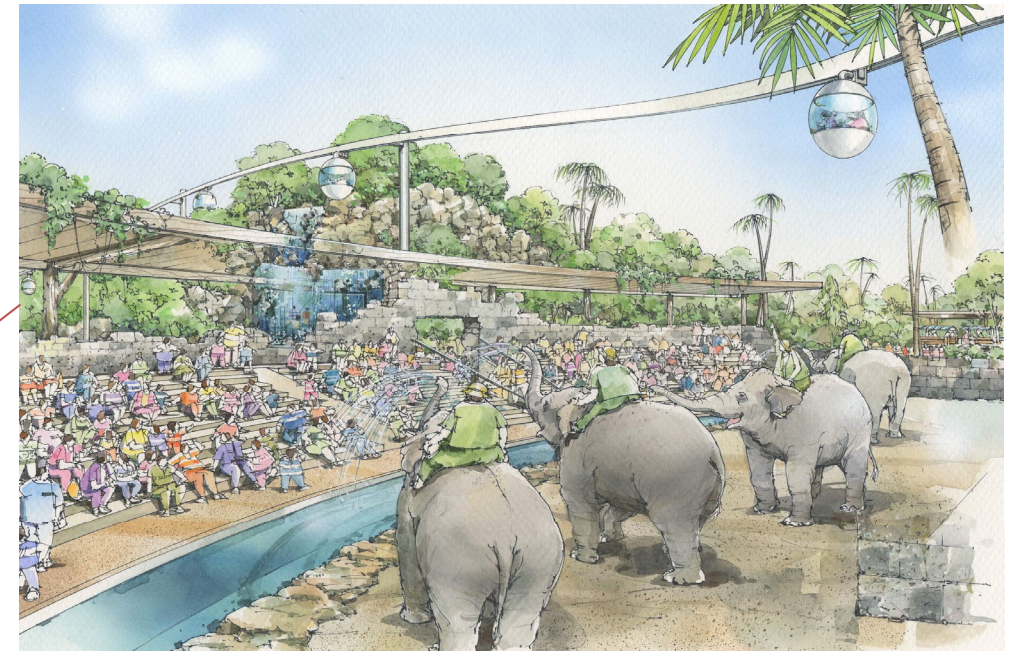
再整備に係る概算事業費は、総額約 300 億円となる（用地買収費用は除く）。各年度における事業費は、「(1) 事業スケジュールの検討」の一覧表に示す通りである。



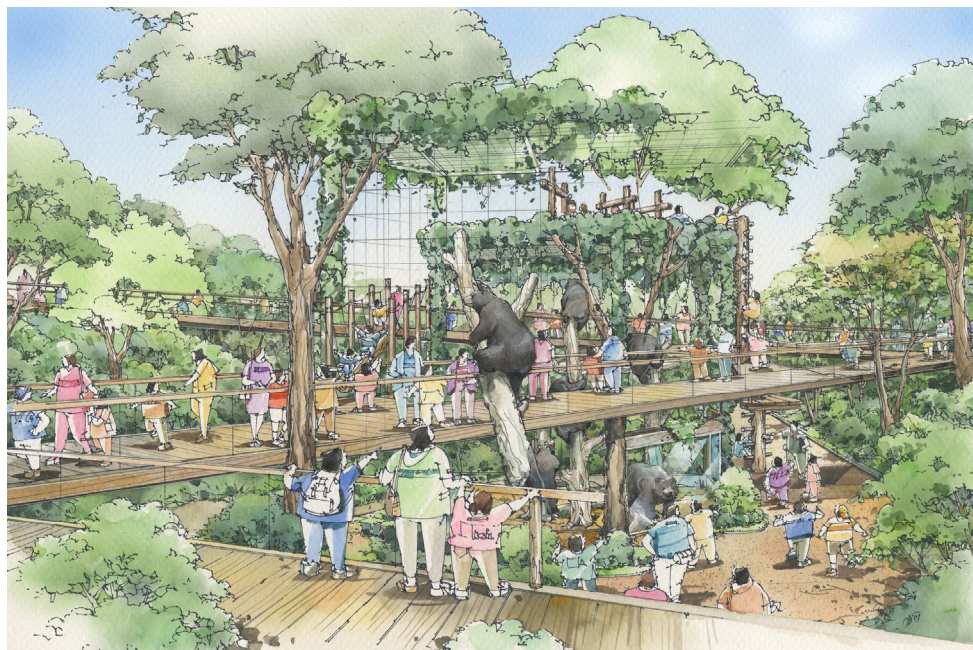
# 沖縄こどもの国施設整備基本計画



琉球弧エリアイメージパース



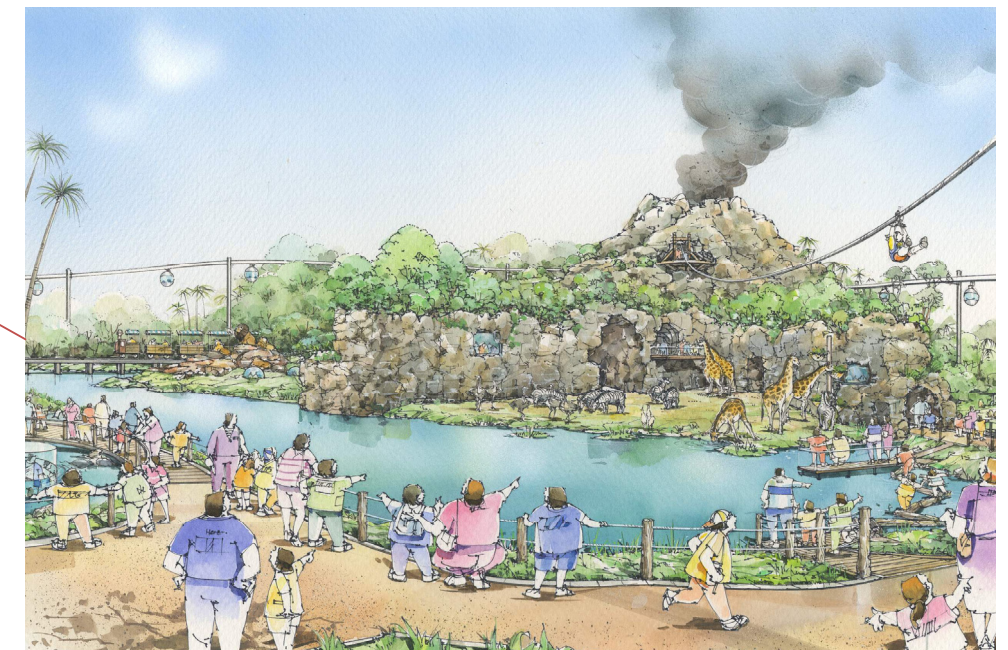
ゾウの舞台エリアイメージパース



里山の迷宮エリアイメージパース



バードケージエリアイメージパース



草食獣の群れエリアイメージパース





沖縄こどもの国施設整備基本計画策定業務  
報告書

---

平成 28 年 3 月

受託者 プレック研究所・丹青社・二基設計共同企業体  
代表者 株式会社プレック研究所  
〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎 2 丁目 3 番 3 号  
TEL 098-833-9170